

# 辺野古埋め立て土砂搬出反対ニュース

北九州連絡協議会《2015年7月13日・No.17》  
連絡先…森下宏人・090-9495-3902 八記久美子 080-1730-8895



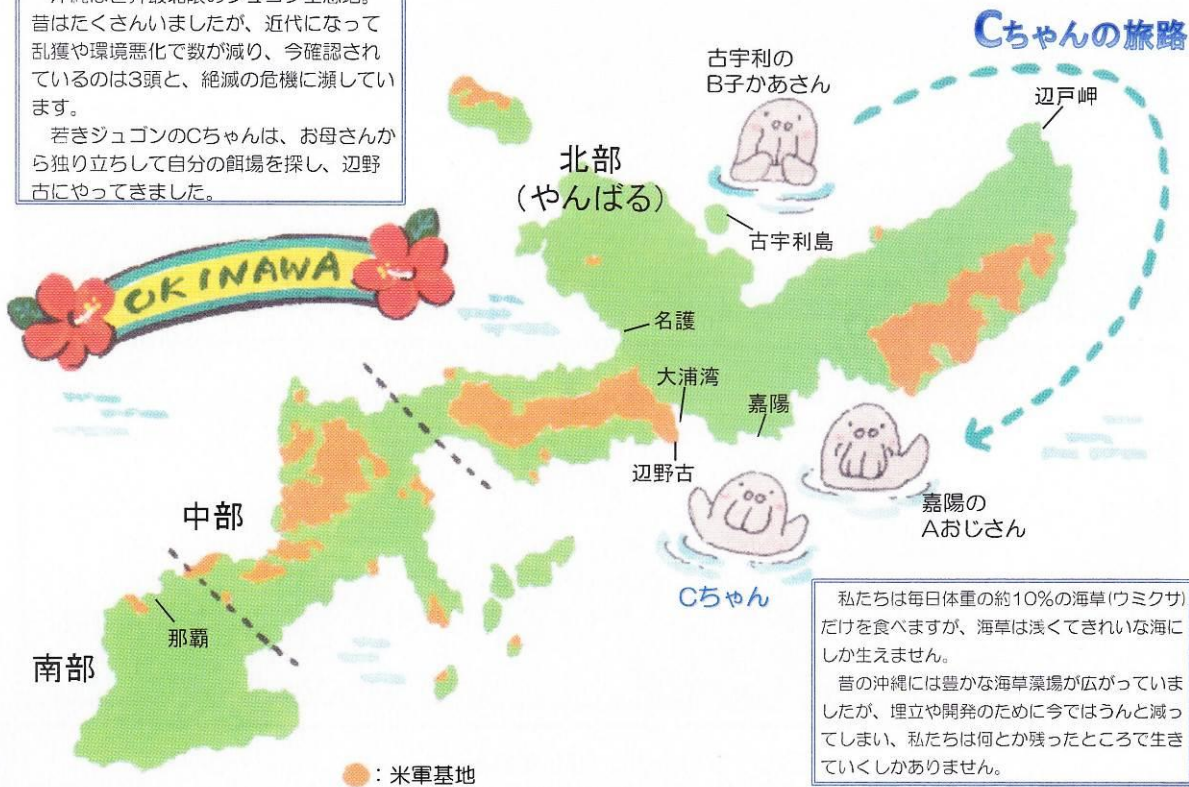
## 辺野古で生きたい。海を埋めないで！



わたし、沖縄のジュゴンのCちゃんです。  
辺野古の海は大事な餌場なのに、日本政府は米軍基地のため強引に埋め立てようとしています。

●所用で先週沖縄に行きました。台風のみったただ中で予定は大きく変更になりましたが、いろいろな収穫がありました。この「Cちゃんのものごとり」は、沖縄でお世話になった「北限のジュゴン調査チーム・サン」の鈴木さんからいただいたものです。沖縄にいる3頭のジュゴンの立場がよく分かります。事務局・八記

沖縄は世界最北限のジュゴン生息地。昔はたくさんいましたが、近代になって乱獲や環境悪化で数が減り、今確認されているのは3頭と、絶滅の危機に瀕しています。  
若きジュゴンのCちゃんは、お母さんから独立して自分の餌場を探し、辺野古にやってきました。



私たちは毎日体重の約10%の海草(ウミクサ)だけを食べますが、海草は浅くてきれいな海にしか生えません。  
昔の沖縄には豊かな海草藻場が広がっていましたが、埋立や開発のために今ではうんと減ってしまい、私たちは何とか残ったところで生きていくしかありません。



# Cちゃんのものがたり

Cちゃんは、西海岸のこうり島でB子かあさんとくらしていました。



すくすく育って、食べる量が増えてくると、西海岸の海草だけではおなかいっぱいにならなくなりました。



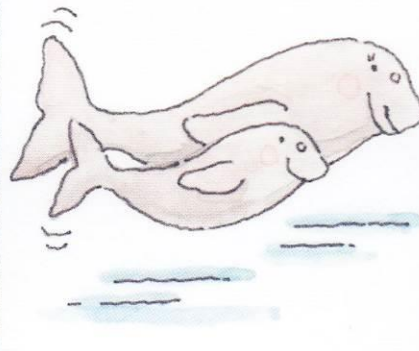
そこで、B子かあさんはCちゃんを連れ、たくさん海草が食べられる場所を求めて旅に出ました。



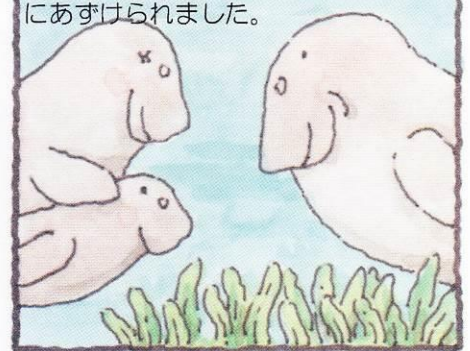
ところが、むかし海草が豊かだった岸辺の海は、開発などによりみんなだめになっていました。



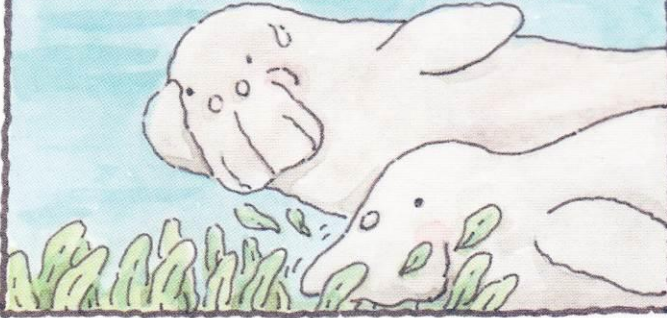
親子は気をとりなおし旅をつづけます。Aおじさんがいる嘉陽はどうかしら。



広くはないけれど静かで海草がおいしげる嘉陽。Cちゃんは、Aおじさんにあずけられました。



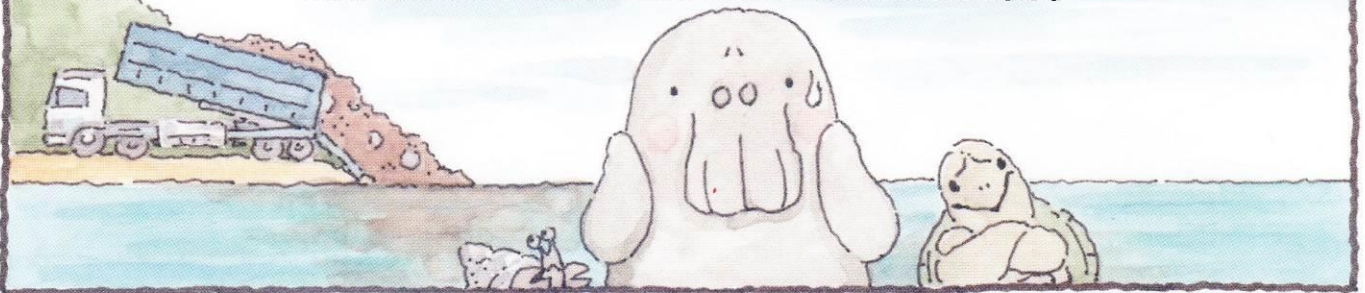
でも、育ちざかりのCちゃんの食欲は想像以上。嘉陽の海草も足りなくなってきました。Cちゃんは別の餌場を求めてあちこち探しまわり・・・



ついに隣の辺野古・大浦湾にいい場所を発見！Aおじさんは危険だと言うけれど、Cちゃんはそこでたくさん海草を食べられるようになりました。



でも、そこは米軍キャンプ・シュワブの岸辺。ひとり立ちしたCちゃんが生きていくためにやっと見つけた場所を、人間たちは基地建設のために埋立てようとしています。このままでは、Cちゃんは生きていく場所を失ってしまうでしょう。



イラストレーション@ひろかわさえこ

守ろうCちゃん、はじめの一步！

【連絡先】北限のジュゴン調査チーム・ザン <http://teamzan.ti-da.net/> メール: n-hokugen.19@kjd.biglobe.ne.jp (鈴木)